

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	37	少人数学習指導の推進					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進					
施策	01	学習・教育環境の充実					
事業内容							
目的	児童・生徒の基礎学力の定着と個に応じた指導を充実するため、学習集団を弾力的に編成し指導の充実に図ります。						
対象・手段	都の費用負担(都費)によるTT(ティームティーチング：1単位時間の授業を複数の教員で指導するもの)及び少人数授業のための教員加配されていない学校等に区の費用負担(区費)で講師を配置し、学習指導を充実します。						
成果(事業が意図する成果)							
個に応じた指導を行うことにより、児童・生徒の基礎学力の定着を高めます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
小学校におけるTTあるいは少人数学習指導の配置数		全小学校のうちTTあるいは少人数学習指導の配置数			(毎) 年度に (全校) の水準達成		
中学校におけるTTあるいは少人数学習指導の配置数		全中学校のうちTTあるいは少人数学習指導の配置数			(毎) 年度に (全校) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
事業成果指標	目標値 1	校	30.00	30.00	30.00	30.00	17年度統廃合により2校減になっています。
	実績 1	校	27.00	28.00	27.00	27.00	
	= /	%	90.00	93.33	90.00	90.00	
	目標値 2	校	13.00	13.00	11.00	11.00	
	実績 2	校	8.00	13.00	11.00	11.00	
	= /	%	61.54	100.00	100.00	100.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	指導方法改善のための教員加配 小学校 27人 27校 中学校 23人 11校 区費講師 小学校 7人7校 中学校 4人4校						
平成18年度	指導方法改善のための教員配置 小学校 27人 27校 中学校 23人 11校 区費講師 小学校 6人3校 中学校 7人4校						

部名称		教育委員会事務局		課名称		教育指導課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	12,684	12,684	22,680	30,781	
	人件費	千円	167	167	1,251	1,242	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	12,851	12,851	23,931	32,023	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	12,851	12,851	23,931	32,023	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	167	167	23,931	32,023	
	特定財源		12,684	12,684	0	0	
	一般財源投入率 /	%	1.30	1.30	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.02	0.02	0.15	0.15	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>児童・生徒の一人ひとりの個性や可能性を伸ばし、基礎・基本の定着を図る観点から、引き続き少人数学習集団や複数の教員による指導が必要であり、区費講師の配置により少人数指導体制について各校の均衡を図る必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	少人数学習集団や複数の教員による指導による個に応じたきめ細かな学習指導を行うことができました。				
	効率性	2	週20時間の配置計画に対し、打合せ等を含めた時間に充てている需用もあり、今後更に個に応じた指導を展開するには、充当時間の充実を一層図る必要があります。				
	実施の成果	3	児童・生徒の基礎・基本の定着と、個に応じたきめ細かな指導の充実しています。				
	行政の関与	2	都においても、国の第7次義務教育諸学校教職員定数改善計画に基づき、少人数指導を行う学校の支援策として加配を実施していますが、区内全ての学校に措置されている状況ではないため、一定の区の関与は妥当と考えます。				
	妥当性	3	児童・生徒の基礎・基本の定着と個に応じた指導を充実するため、学習集団を弾力的に編成し指導することは効果的です。				
	施策寄与度	3	教員・区費講師による指導の他、大学生を活用した学習指導補助、小学校での講師の専門性を活かした教科の系統性に準じた指導計画、教科・学年に応じた少人数学習指導など、個に応じたきめ細やかな指導体制の確立が重要です。				
総合評価	児童・生徒に基礎的・基本的内容を確実に身に付けさせるために、習熟の度合いに応じた指導を行ってきました。また、個に応じたきめ細かな指導への各学校・保護者からの期待が高い中、少人数学習集団や複数の教員による指導によるきめ細かな学習指導を行うことができました。						B 過年度評価 17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
	改革方針	当面、都費加配の不足分を区費講師で補てんを実施していきませんが、今後の国・都の教職員配置計画の動向に注視つつ、多様な指導体制・手法を研究していきます。					